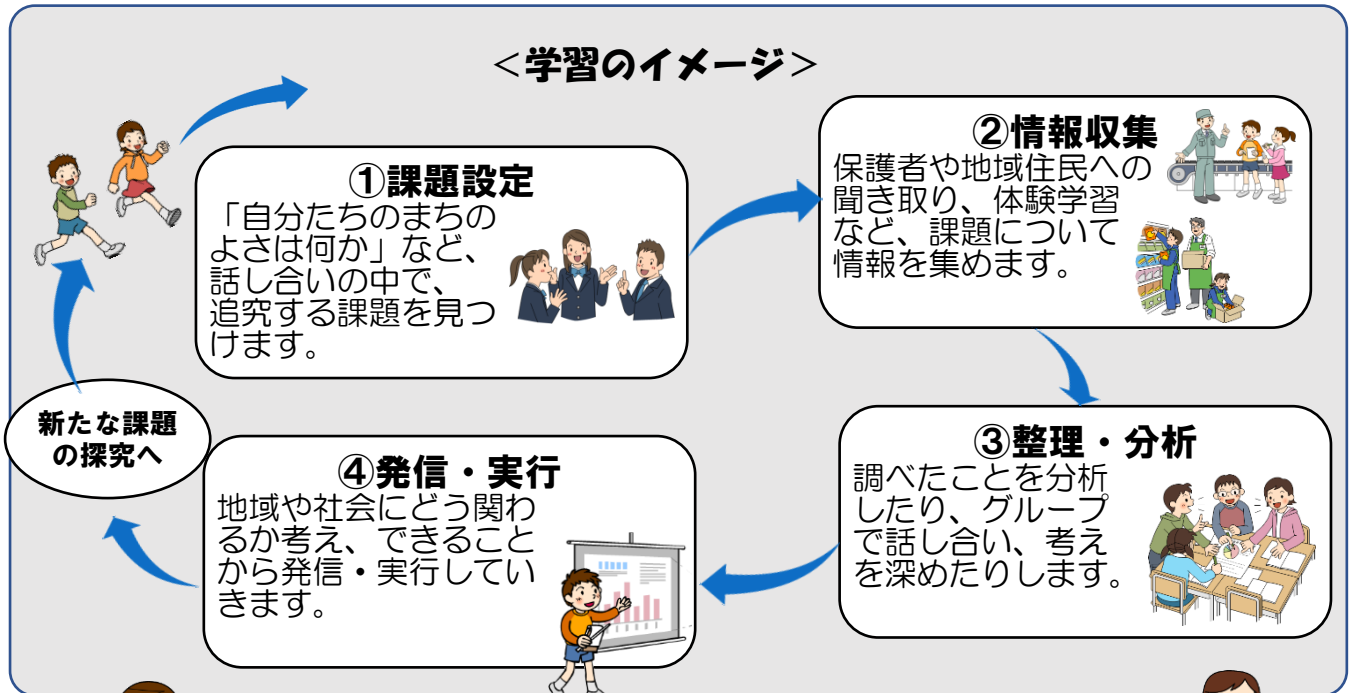


未来の創り手を育てる「武蔵野市民科」の取組について

世の中が大きく変化する中、一人一人が幸せな社会をつくるには、「よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力（市民性）」が大切です。そこで、武蔵野市では、子どもたちの市民性を育むために、令和3年度から「武蔵野市民科」の学習に取り組んでいます。



<武蔵野市民科についてのQ&A>



Q 新しい教科ができるということですか？

A いいえ。総合的な学習の時間、各教科、特別の教科 道徳などを組み合わせ、学校のこれまでの実践を生かす形で行う予定です。

Q 何年生から実施するんですか？

A 小学校第5学年から中学校第3学年の学年で年1回以上、実施する予定です。

Q なぜ、武蔵野市民科が必要なんですか？

A 武蔵野市民科として学校の教育課程に明確に位置付けることで、たとえ教員が異動しても、継続的に実施できます。また、地域や保護者の皆様に市民性の育成の重要性を発信しやすくなり、共に社会をつくる協働体制の構築にもつながります。

Q どのように評価をするんですか？

A 通知表の「総合的な学習の時間」や「総合所見」で学習の成果を文章でお伝えします。

<自校の今年度の取組予定>

学習テーマ例

○地域や社会的課題などへの理解

「セカンドスクールで体験しよう」武蔵野市と訪問先の地域の共通点や相違点を考え、それぞれのよさや課題を考える。

○よりよい地域、社会づくり

「#吉祥寺プロジェクト」地域の商店街と連携し、吉祥寺の街のよさを考える。